

令和5年度 大塔小学校「学校評価」について

昨年12月に実施しました「学校評価」のご協力誠にありがとうございました。結果と考察等をまとめましたのでご一読ください。

学校評価アンケート集計結果【R5.12月上旬実施】 回収率 70.8% (319/450 家庭)

プリントによるアンケートだったものを、昨年度より Google フォームでの実施としました。このことより昨年は回収率が62.1%と極端に落ち込んだのですが、今年度は幾分か回復することができました。これも、保護者の皆さんのご協力のおかげであり、学校への関心度の一つの指標と考えています。ご協力ありがとうございました。

※保護者の欄の数値は「上段：本年度」「下段：昨年度」となっております。

項目	番号	質問内容	保護者 (昨年度)	
			高学年児童 低学年児童	
学校教育目標	①	大塔小学校の学校教育目標『子どもたちが自慢できる学校を！～今に、未来に子どもたちが誇れる学校～』には共感でき、教育活動(特色)に満足している。	高3.6 低3.1	3.4 (3.5)
	②	子どもたちは「自慢できる仲間」「自慢できる先生」「自慢できる地域」を意識しながら学校生活を送っている。	高3.4 低3.2	3.1 (3.3)
学習指導	③	先生たちは、子どもたちを良く理解し、わかりやすい授業をしている。	高3.5 低3.6	3.1 (3.1)
	④	先生たちは、家庭学習の習慣が身につくように指導している。	高3.1 低3.0	3.4 (3.3)
生活指導	⑤	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	高3.8 低3.6	3.5 (3.5)
	⑥	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育がなされている。	高3.2 低3.3	3.3 (3.4)
	⑦	子どもたちは、家庭や地域においてよくあいさつをしたり、正しい言葉づかいで話したりしている。	高3.4 低3.4	2.9 (3.0)
	⑧	子どもたちは、自他の命の大切さについて考え、安全(生活事故、交通事故など)に生活している。	高3.7 低3.6	3.3 (3.3)
環境	⑨	大塔小学校は、子どもが安全に過ごしやすい環境が整っている。		3.5 (3.5)
	⑩	大塔小学校は、季節の花や木があり、潤いのある環境になっている。	高3.4 低3.5	3.6 (3.6)
地域	⑪	PTAの一員として、活動に参加したり協力したりしている。		2.6 (2.7)

総括
昨年度の回収率が極端に落ち込んでいたので、十分な比較にはならないのですが、どの項目も昨年度との大差はないように見受けられます。
ただ、学校としては率直に少しでも数値を上げたいもの。決して、悪い数値ではないし、多くのおねぎらしい言葉、励ましの言葉をいただいているのも事実です。しかし、まだ様々なことに努力や方針の見直し等が必要なことも感じられます。

「あいさつ」について
昨年度も数値としてあまりよくない結果でした。左表を見てもわかる通り、子どもたちは「あいさつをしている」という認識ですが、見ているとなかなか声を出してのあいさつができない子も少なくはありません。朝会や集団下校時に話したり、学級でも何回も指導したりしているのですがこれが現状です。このことは記述でのご意見としてもいただきました。引き続き、見守りのボランティアの皆さんや旗当番の保護者の皆様にもご協力いただきながら根気強く指導していきたいと思っております。

「PTA 活動」について

「PTAの一員として活動に協力したり、参加したりしている」という設問のとらえ方だとは思いますが。保護者の皆さんがやってくださっている「旗当番」も一つのPTA活動とすることもできますし、今年度初めて行われた「秋祭り」にボランティアとして参加する、お子さんと一緒に遊びに来る、親はその日忙しかったので、子どもたちを笑顔で送り出す、こんなことだってPTA活動への参加だと思えます。「PTAの一員として」とあると、何かかしこまった感じがしますが、もっと気軽に考えていいのではないかと思います。また、現在大塔小PTAはそんなPTAの在り方を目指しています。



記述によるご意見より

今回の保護者アンケートでは、数値による評価とともに、記述によるご意見もいただきました。先に書いておりますように、たくさんのおねぎらい、励ましのお言葉をいただいているものもあれば、学校として考えなければいけないこともありました。個人に関わるもの、学級が限られているものについては、管理職と担任や個人と今後の対応についていっしょに考えました。そのことについては割愛させていただきます。

また、全てのご意見を拝読し、個人的なもの以外は全職員で共有しました。ここにいただいたご意見のいくつかについて、学校としての見解を述べます。(裏面もあります)

① 授業参観等で運動場を駐車場として開放してほしい

車社会であり、ほとんどのご家庭が仕事を早退、あるいは中抜けすることでご参観いただいていることから考えるととってもご意見です。そうしたい思いもあるのですが、次のような理由から現在のところ無理があります。

・排水機能を壊してしまいます。

運動場の地下には排水の工事がしており、このために大塔小の運動場は市内でもトップクラスの水はけのよさです。駐車場として使用することが頻繁になると、車重の圧迫により機能しなくなります。ちなみに、学校ができた当初、この大塔小の運動場は強い風が吹くと運動場の土が隣のバス道路に飛ばされ、歩道が真っ茶色になっていました。このこともあって、平成23年に運動場の改修工事がされ、強風であっても飛ばされにくい重い土が使われています。(この重い土のため、昨年度の台風では飛ばされた土で体育館の扉の強化ガラスが破損しました。)

・子どもたちの安全の確保ができません。

11月市内で起こった強盗未遂事件のために、いわゆる「お迎え下校」をした際にも感じたのですが、本校の家庭数は現在450ほど、1学年でもかなりの車両台数になります。授業参観は5校時に行うため、子どもたちの昼休みに保護者の方の車が来校するとなると、外で遊びを禁止することになります。ただそうしたところで、子どもたちの動きはあるはずで、飛び出し等も考えられます。本校の児童数で、家庭数での安全確保は難しいところがあります。近隣の中学校では、運動場を開放しているということも承知していますが、中学校の昼休みに運動場で大人数が遊ぶということもなく、この点は小学校ならではの点かと思っております。



②宿題で子どもが悪戦苦闘、夜遅くまで泣きながらやっている



このことについては学校でも考えていきたいと思えます。学校としては家庭学習の充実を図り、学力の向上を目指したいところです。

しかし、同じ漢字1ページ、算数プリント1枚やるにも、10分で終わる子もいれば、1時間かかる子もいます。本来であれば、一人一人の能力に合った課題を与えるのがいいのですが、そこまでは無理があります。一律に与える課題は最低限のもの、あるいは幅を持たせたもの（例えば、10問までは全員にやってほしいけど、11問目～20問目はチャレンジ問題など）であって、加えてプラスワン学習（課題に加えて自分で考えた学習）を本校では勧めています。家庭学習には個人差もあります。「泣きながらやる」というまでになると、勉強そのものが嫌いになることもあります。担任へもご相談ください。

③テストでこう解かなければいけないという考え方が強く、答えは合っているのに式が違うから間違っていたということがあった。画一的過ぎではないか？

このご質問だけではどんな問題なのか、どんな力を試されたテストなのかわからないところですので、以下のことが回答になるのかどうかはわかりませんが、こんなこともあるとご一読いただければ幸いです。2つの例を示します。

例1 かけ算の問題

リンゴが3個ずつのった皿が5つあります。

リンゴはぜんぶで何個ですか。



左の問題の場合、3つのまとまりが5あるので式は

$3 \times 5 =$ となります。

日本の算数では、この「まとまり」というところを大切に扱い、かけ算の意味を理解させるということに重きを置いています。ですから、 $5 \times 3 =$ と書くとは不正解になります。

ちなみに、外国では $5 \times 3 =$ と書くところも多くあります。

例2

25×44 を工夫して計算しましょう。

例2の場合「工夫して」というところが問われています。答えは1100ですがこの答えだけ出せば正解かというところではありません。

$25 \times 4 = 100$ ということをお頭に置いておけば、 $25 \times 40 = 1000$ で残りの $25 \times 4 = 100$ 合わせて1100ということになります。この問題はこの説明を文や式で表して、初めて正解となるのです。

④運動会において、種目が2年連続になることを改善してほしい



このところ本校では運動会の表現運動は、1・2年生が「ジャンボリミッキー」、3・4年生が「佐世保けんかごま」、5・6年生が「よさこいソーラン」を定番にしています。これには以下のような理由があります。

一つ目は、前年度経験した上学年が下学年に（例えば2年生が1年生に）教えることで、上学年としての意識を育てることができるといことです。毎年、2年生は小学校の運動会を始めて経験する1年生にお兄ちゃん、お姉ちゃんらしい顔つきでお手本として踊る姿を見ます。これは、3・4年生、5・6年生でも同じことです。もちろん、上の学年になれば関わり方はそれぞれ違うところがありますが、隣接学年の集団の中でリーダー性を育むという目的があります。

二つ目は、運動会の練習にかかる時間と労力の軽減です。ひと昔前まで、運動会の練習には他の教科の授業時間のやりくりをしてかなりの時間を費やしていました。今でも幾分かそうではあるのですが、運動会が終わると、遅れた教科の進捗をもどすのに必死です。また、ここ数年暑い日が長く、運動会の練習を始める頃も熱中症の警戒をしながら練習に取り組んでいます。このようなことから、運動会の練習にかかる時間と労力の軽減が必要になります。

このようなことから、本校では2年連続する競技を行っている次第です。「また、去年と同じダンスかあ…」とのご不満もあるかもしれませんが、取り組んでいる子どもたちの成長は違っているはずですよ。

⑤集団登校の廃止や登校時の名札着用の廃止について

集団登校がストレスになっているため廃止してほしいというご意見もいただきました。大塔小は今年度創立30周年、黒髪小から分離という形で設立されました。黒髪小は集団登校をしていませんが、当時の保護者の皆さんが話し合っ、「大塔小は子どもたちの安全確保のために集団登校をしよう」ということになったようです。保護者の皆さんの総意であれば、集団登校も見直さざるを得ないところですが、50%の児童が国道を渡ってくる現状では特に低学年のため集団登校に賛同される方が多いようです。

また、登校中の名札の着用についてですが、登校の見守りで朝から立ってくださってボランティアの方は、名札を見て名前を覚え「〇〇ちゃん、おはよう！」と声をかけてくださっています。この効果は子どもたちにとっても大きいものだと思います。

様々なご意見もあろうかと思いますが、総合的に考えるとどちらも現状のままがよいのではないかと思います。



重複しますが、いただいたご意見に満足いく回答かどうかはわかりません。学校の情報発信不足も感じる場所です。また、せっかくいただいたご意見すべてにお答えしたいところですが、紙面の都合上わずかとなってしまい申し訳ございません。全てのご意見を拝読させていただき、しっかりと受け止めたことを再度お伝えいたします。最後に、学校の運営のご意見番的な立場である「学校運営協議会」（本校は主任児童委員、自治会長代表、学識経験者、PTA代表等で構成）の皆様のご意見を掲載します。

【学校運営協議会のご意見】（※2/22（木）大塔小PC室で実施）

○この紙面にあるように、保護者からの意見に、今までの経緯や学校の考えをきちんと周知していくことが大切だと思う。

○名札の着用については、個人情報面の心配する面もあるかもしれないが、

・地域の方からの呼名によるスムーズなコミュニケーションのメリット

・緊急時の適切な対応ができるというメリット

があり、名札着用のプラス面を大切に子どもを守っていくことが大切なのは、実際に、名札があり名前がわかったことで、下校中の対応がスムーズにできたこともあった。

○挨拶については、保護者自身が子どもから「されて当たり前」という受け身になっている部分もあるのでは。ちゃんとしている子を褒める、頑張っている子を認める、という姿勢で大人が手本となって挨拶をして、地域を明るくしていければと思う。

加えて、先日行いました職員の体罰調査のご協力もありがとうございました。「体罰」が確認できるような事案がなかったことは事実ですが、考えなければいけない指導が数件報告されたのも事実です。このことについては、該当職員としっかり考える時間をとったことを報告させていただきます。